

国立公文書館 EAD 定義

第 1.10 版

独立行政法人 国立公文書館

改版履歴

版	発行日	改定内容
1.0	2005/04/01	初版作成
1.08	2017/11/8	システム更新にあわせて改版
1.10	2022/03/18	システム更新にあわせて項の並び、項目名、記述例等を修正

< 目 次 >

改版履歴.....	2
1. 概要.....	5
1.1. 目的.....	5
1.2. 用語.....	6
1.3. 対象となるデータの構成.....	7
1.4. EAD ヘッダ.....	9
2. EAD 要素.....	10
2.1. レファレンスコード、請求番号（REFERENCE CODE）.....	10
2.2. タイトル（TITLE）.....	11
2.3. 年月日（DATE）.....	12
2.4. 記述レベル（LEVELS OF DESCRIPTION）.....	13
2.5. 数量（EXTENT）.....	14
2.6. 媒体の種別（ACCEPT DOCUMENT MEDIA）.....	15
2.7. 作成・取得部局（CREATOR）.....	16
2.8. 組織歴（BIOGRAPHICAL HISTORY）.....	17
2.9. 資料履歴（ARCHIVAL HISTORY）.....	19
2.10. 入手先（IMMEDIATE SOURCE OF ACQUISITION）.....	20
2.11. 資料内容（SCOPE AND CONTENT）.....	21
2.12. 評価、廃棄処分、保存年限（APPRAISAL, DESTRUCTION AND SCHEDULING）.....	23
2.13. 追加受入（ACCRUALS）.....	24
2.14. 編成（SYSTEM OF ARRANGEMENT）.....	25
2.15. 公開条件（CONDITIONS GOVERNING ACCESS）.....	26
2.16. 利用条件（CONDITIONS GOVERNING REPRODUCTION）.....	27
2.17. 使用言語（LANGUAGE / SCRIPTS OF MATERIAL）.....	28

2.18.	物的特徴、大きさ (PHYSICAL CHARACTERISTICS AND TECHNICAL REQUIREMENTS, DIMENSIONS).....	29
2.19.	場所 (STORAGE LOCATION).....	30
2.20.	検索手段 (FINDING AIDS).....	31
2.21.	オリジナル資料 (EXISTENCE AND LOCATION OF ORIGINALS).....	32
2.22.	複製 (EXISTENCE AND LOCATION OF COPIES).....	33
2.23.	関連資料 (RELATED UNITS OF DESCRIPTION).....	34
2.24.	出版書誌情報 (PUBLICATION NOTE).....	35
2.25.	関連事項 (NOTE).....	36

1. 概要

1.1. 目的

国立公文書館では、「特定歴史公文書等の目録に関する基本的な考え方」に基づき、特定歴史公文書等の目録を国立公文書館デジタルアーカイブ（以下「DA」という。）で公表し、一般の利用に供することとしている。DA に登録される目録情報については、ISAD(G)の 1999 年に公表された第 2 版の定義による目録記述に基づき作成している。その目録情報のデジタル化にあたって、国立公文書館は「国立公文書館 EAD 定義」を作成した。

EAD とは、Encoded Archival Description の略記であり、アーカイブズの資料の検索手段を電子的に符号化するための事実上の国際標準である。EAD はその検索手段の情報の構造を定めており、EAD の内容は、XML の文書型定義 DTD や XML のスキーマとして定められている。

国立公文書館 EAD 定義は、上記の EAD2002 版を基本とし、国立公文書館で作成する資料群データや目録データの情報の構造等を定めたものである。

1.2. 用語

本書で使用される用語を以下に示す。

用語	説明
EAD	Encoded Archival Description の略記。アーカイブズの資料の検索手段を電子的に符号化するための事実上の国際標準。EAD はその検索手段の情報の構造を定めている。EAD の内容は、SGML や XML の文書型定義 DTD や XML のスキーマとして定められている。
EAD データ	国立公文書館所蔵資料の EAD に基づく記録史料記述情報を XML 化したもの。本システムでは、「目録データ」「資料群データ」「画像等管理データ」等を併せて、EAD データと呼ぶ。
目録データ	国立公文書館所蔵の歴史公文書等の簿冊及び件名／細目単位に作成した文字で表すデータ。
資料群データ	一般利用者の手引きとなるように、国立公文書館所蔵の歴史公文書等を移管元機関等毎 に区分した上で、その内容から簿冊をグループ化し、体系化するために階層構造を持たせたデータ。
簿冊	数件の件名または細目を 1 冊に綴じたものを指す。
件名／細目	簿冊に綴じられた資料の最小の単位 (1 資料) を指す。 公文書等では「件名」、内閣文庫は「細目」と呼んでいる。
公文書等	国立公文書館所蔵資料のうち、行政機関から移管された「行政文書」、司法機関から移管された「司法文書」、独立行政法人等から移管された「法人文書」、個人又は法人等から寄贈・寄託された「寄贈・寄託文書」を指す。
内閣文庫	国立公文書館所蔵資料のうち、江戸幕府の紅葉山文庫・昌平坂学問所・医学館等から明治政府が継承した書籍、明治初期に政府が資料収集の一環として購入した文書等を含む「和書」・「漢書」、明治以降、政府が調査や業務の参考のために購入した英・米・仏各国の政治・法律等の書籍を含む「洋書」を指す。
公文書等簿冊	「公文書等」の簿冊目録データ。
公文書等件名	「公文書等簿冊」に紐付いた件名目録データ。
内閣文庫簿冊	「内閣文庫」の簿冊目録データ。基本的には 1 件＝物理的に 1 冊だが、「内閣文庫簿冊」では 1 冊ではなく複数冊をまとめたものを指すことがある。
内閣文庫細目	「内閣文庫簿冊」に紐付いた細目目録データ。
メタデータ	目録に記載されている資料情報全般を指す。

1.3. 対象となるデータの構成

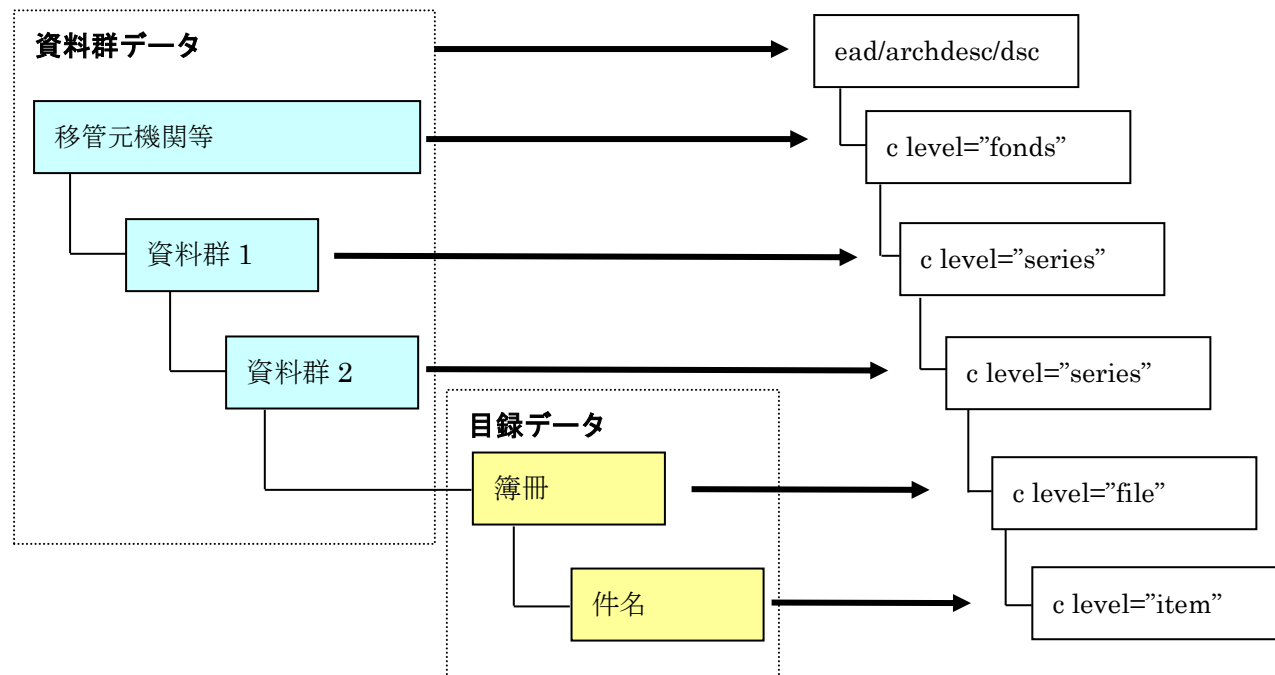
対象となるデータは、行政機関等から移管された公文書等(以下「公文書等」と記す)と内閣文庫の古典籍(以下「内閣文庫」と記す)の 2 つの資料種別に分けられ、それぞれ資料群データと目録データに分類される。目録データはさらに「簿冊レベル」と「件名(公文書等)・細目(内閣文庫)レベル」の 2 階層を持つ。

公文書等(簿冊レベルと件名レベル)と内閣文庫(簿冊レベルと細目レベル)では扱う項目に違いがあるため、項目のマッピングはそれぞれの資料種別について定義している。

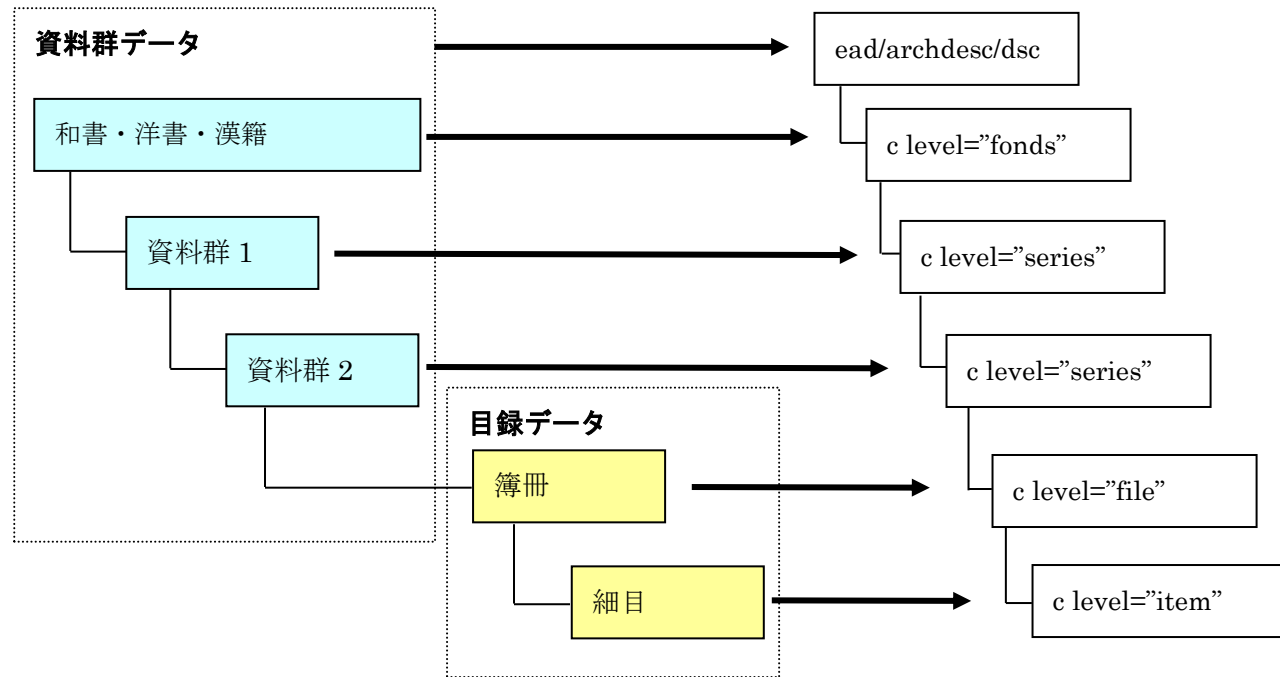
資料群データと目録データは階層構造となっており、EAD の要素に対応させる。

以下にデータ構造と EAD 要素の対応を示す。

【図1】 資料種別：公文書等(行政文書、司法文書、法人文書、寄贈・寄託文書)のデータ構成のイメージ



【図2】 資料種別：内閣文庫(和書・洋書・漢籍)のデータ構成のイメージ図



※資料群の階層数は、fonds(移管元機関等、和書・洋書・漢籍)によって異なる。

1.4. EAD ヘッダ

データ移行及び新規登録データとして作成される EAD データでは、DTD によるバリデーションを行うために必要最低限の要素のみを EAD ヘッダ要素として記述する。

バリデーションを正常に行うために必要な要素は以下の通りである。空値となっている要素は空要素でもよい。

```
<ead audience="external">
  <eadheader audience="internal">
    <eadid></eadid>
    <filedesc>
      <titlestmt>
        <titleproper></titleproper>
        <author></author>
      </titlestmt>
    </filedesc>
  </eadheader>
  <archdesc level="fonds">
    <did>
      <unitid></unitid>
      <unittitle></unittitle>
    </did>
    <dsc>
      <!-- これ以降に c 要素を記述する -->
    </dsc>
  </archdesc>
</ead>
```

2. EAD 要素

2.1. レファレンスコード、請求番号（Reference Code）

全てのデータ共通で did/unitid 要素を使用する。

identifier 属性にシステム上の目録 ID である EAD データ ID(20 桁の半角英数字)を記述する。EAD データ ID はシステム上で一意の識別子となる。

label 属性により記述内容を区別する。資料群データではレファレンスコード、目録データでは請求番号を記述する。

資料種別	対応項目	記述例
資料群	資料群の階層と順序を表すレファレンスコード(N-NNN-NN N-NNN-NNN)	<pre><did> <unitid label="レファレンスコード" identifier="F0000000000000000001">1-0 01-001-001-000</unitid> </did></pre>
公文書等簿冊	請求番号	<pre><did> <unitid label="請求番号" identifier="F0000000000000000002">平 14 厚 労 00001100</unitid> </did></pre>
公文書等件名	親簿冊請求番号＋件名番号＋件名事項 SEQ を使用する。	<pre><did> <unitid label="請求番号" identifier="M0000000000000000003">平 14 厚 労 00001100-00100</unitid> </did></pre>
内閣文庫簿冊	請求番号	<pre><did> <unitid label="請求番号" identifier="F0000000000000000004">古 027-05 17 イ</unitid> </did></pre>
内閣文庫細目	親簿冊請求番号＋SEQ を使用する。	<pre><did> <unitid label="請求番号" identifier="M0000000000000000005">古 027-0 517 イ-0001</unitid> </did></pre>

※「SEQ」とは一つの簿冊に複数の件名／細目が紐づく場合に、表示順を設定するための値

2.2. タイトル (Title)

全てのデータ共通で did/unittitle 要素を使用する。資料種別により label 属性で区別する。

資料種別	対応項目	記述例
資料群	タイトル	<did> <unittitle label="タイトル">運輸省</unittitle> </did>
公文書等簿冊	簿冊標題	<did> <unittitle label="簿冊標題">炭鉱労働者雇用安定法(1992)</unittitle> </did>
公文書等件名	件名	<did> <unittitle label="件名">炭鉱離職者臨時措置法改正案の概要図</unittitle> > </did>
内閣文庫簿冊	書名	<did> <unittitle label="書名">大乘院寺社雑事記</unittitle> </did>
内閣文庫細目	書名	<did> <unittitle label="書名">書状・裏30丁</unittitle> </did>

2.3. 年月日 (Date)

全てのデータ共通で did/unitdate 要素を使用する。作成年月日など、特定の日付に限定せず、資料固有の日付として扱う。特定の日付を表す場合は label 属性で区別する。元号コードの例示としては、「246:昭和」、「247:平成」、「248:令和」などがある。

資料種別	対応項目	記述例
資料群	年月日	<pre><did> <unitdate label="年月日">1886(明治19)－1985(昭和60)</unitdate> </did></pre>
公文書等簿冊	年月日(FROM)、年月日(TO)、閏月フラグ 閏月フラグがセットされている場合、unitdate 要素の PCDA TA 内(年月日の先頭)に"[閏]"を記述する。	<pre><did> <unitdate label="年月日" normal="19920000/19939999">1992[閏]－1993 </unitdate> </did></pre>
公文書等件名	年月日、閏月フラグ 閏月フラグがセットされている場合、unitdate 要素の PCDA TA 内(年月日の先頭)に"[閏]"を記述する。	<pre><did> <unitdate label="年月日" normal="19920000">1992[閏]</unitdate> </did></pre>
内閣文庫簿冊	年月日種別、欠年フラグ、開始元号、終了元号、開始元 号年月日、終了元号年月日、開始西暦年月日、終了西 暦年月日、開始西暦年月日(閏月フラグ)、終了西暦年 月日(閏月フラグ) 年月日種別はコードで datechar 属性に記述する。 欠年フラグがセットされている場合、PCDATA 内(年月日の 先頭)に"[欠]"を記述する。 元号区分と元号名称はコードで PCDATA に記述する。 normal 属性に開始西暦年月日・終了西暦年月日を記述 する。 開始・終了の閏月フラグがセットされている場合は、PCDA TA 内(開始元号年月日及び終了元号年月日の後)に" [閏]"を記述する。	<pre><did> <unitdate label="元号年月日"[欠]190:長祿:030101[閏]－199:永正:040320 [閏]</unitdate> </did></pre>
内閣文庫細目	※内閣文庫簿冊と同じ	

2.4. 記述レベル (Levels of Description)

資料群データ、目録データとも c 要素を使用する。階層情報は level 属性の値により設定する。

資料種別	対応項目	記述例
公文書等資料群	「行政文書」内の直下の資料群(移管元機関等	<c level="fonds">
	(上記の fond と簿冊の間にある階層)資料群	<c level="series">
内閣文庫資料群	和書・洋書・漢籍等	<c level="fonds">
	(上記の fond と簿冊の間にある階層)資料群	<c level="series">
公文書等簿冊	簿冊	<c level="file">
公文書等件名	件名	<c level="item">
内閣文庫簿冊	簿冊	<c level="file">
内閣文庫細目	細目	<c level="item">

2.5. 数量（Extent）

単位に関わらず、数量を表す項目は原則として did/physdesc/extent 要素を使用する。特定の数を表す項目の場合は label 属性により区別する。

単位が別に指定されている場合は extent 要素の unit 属性に記述する。数量(単位)コードの例示としては、「01: 簿冊(和綴じ)」、「02: 簿冊(洋装)」、「03: ファイル」などがある。

資料種別	対応項目	記述例
資料群	簿冊件数	<pre><did> <physdesc> <extent label="数量">4, 778件</extent> </physdesc> </did></pre>
公文書等簿冊	数量	<pre><did> <physdesc> <extent label="数量">34 冊</extent> </physdesc> </did></pre>
公文書等件名	枚数	<pre><did> <physdesc> <extent label="枚数">5</extent> </physdesc> </did></pre>
内閣文庫簿冊	数量(単位)、数量(実数) 単位は extent 要素の unit 属性にコードで記述する。数量の繰返しは extent 要素の繰返しにより表現する。	<pre><did> <physdesc> <extent label="数量" unit="01">167</extent> <extent label="数量" unit="02">14</extent> </physdesc> </did></pre>
内閣文庫細目	※内閣文庫簿冊と同じ	

2.6. 媒体の種別（Accept Document Media）

媒体の種別については、did/physdesc/genreform 要素を使用する。媒体の種別コードの例示としては、「00:紙」、「11:マイクロフィルム」、「27:電子」などがある。

資料種別	対応項目	記述例
資料群	なし	
公文書等簿冊	媒体の種別 genreform 要素の type 属性で区別する。コードで記述する。	<pre><did> <physdesc> <genreform type="媒体の種別">00</genreform> </physdesc> </did></pre>
公文書等件名	なし	
内閣文庫簿冊	なし	
内閣文庫細目	なし	

2.7. 作成・取得部局（Creator）

全てのデータ共通で did/origination 要素を使用する。label 属性により記述内容を区別する。

個人・組織・部署を含む場合に、下位要素として persname、corpname 要素を含むことがある。人名区分コードの例示としては、「01:著者」、「02:編者」、「03:選者」などがある。

資料種別	対応項目	記述例
資料群	作成・取得部局	<pre><did> <origination label="作成・取得部局">鉄道院, 鉄道省, 運輸通信省, 運輸 省鉄道局(国土交通省鉄道局)</origination> </did></pre>
公文書等簿冊	作成・取得部局	<pre><did> <origination label="作成・取得部局">労働省職業安定局</origination> </did></pre>
公文書等件名	※公文書等簿冊と同じ	
内閣文庫簿冊	人名 繰返しの場合は persname 要素を複数記述する。人名区分は persname 要素の role 属性にコードで記述する。	<pre><did> <origination label="人名"> <persname role="01">尋尊</persname> </origination> </did></pre>
内閣文庫細目	※内閣文庫簿冊と同じ	

2.8. 組織歴 (Biographical history)

bioghist 要素を使用する。資料群レベルの場合は p 要素で文字データを記述する。内閣文庫の場合、書誌事項の繰返しを表現する。和暦名称のコードの例示としては、「246:昭和」、「247:平成」、「248:令和」などがある。刊写の別コードの例示としては「01:刊本(序刊)」「02:刊本(序刊)」などがある。

資料種別	対応項目	記述例
資料群	出所(部局)	<bioghist> <p>鉄道に関する行政組織は、明治3年3月に大蔵省鉄道掛が設置されて以後、工部省鉄道寮、工部省鉄道局、内閣鉄道局、内務省鉄道庁、逓信省鉄道局と変遷した。明治39年3月鉄道国有化以後、明治41年に鉄道院(内閣)が設置され、大正9年には鉄道省に昇格した。昭和18年11月鉄道省が廃止され、新たに設置された運輸通信省鉄道総局となり、昭和20年5月に運輸省鉄道総局、同24年6月には鉄道監理局となった。昭和59年7月の行政改革の結果、地域交通局及び貨物流通局に分散担当されたが、平成3年7月再び鉄道局となり、同13年の省庁再編により国土交通省鉄道局となった。</p> </bioghist>
公文書等簿冊	なし	
公文書等件名	なし	
内閣文庫簿冊	書誌開始刊写の別、書誌開始和暦区分、書誌開始和暦名称、書誌開始刊行・書写年、書誌開始刊行・書写西暦年(閏 F)、書誌開始時代、書誌開始刊行書写者氏名、書誌終了刊写の別、書誌終了和暦区分、書誌終了和暦名称、書誌終了刊行・書写年、書誌終了刊行・書写西暦年(閏 F)、書誌終了時代、書誌終了刊行書写者氏名 開始・終了の項目をまとめて chronitem 要素とする。EAD では chronlist の繰返しで表現する。 開始・終了の各項目は、和暦名称/和暦区分/刊行・書写年/時代を chronitem/date 要素、刊写の別を chronitem/event 要素の PCDATA、刊行書写者氏名を chronitem/event/persname 要素として記述する。	<bioghist> <chronlist> <chronitem> <date type="書誌開始和暦">室町:193:応仁:190102[閏]</date> <event>03<persname>尋尊</persname></event> </chronitem> <chronitem> <date type="書誌終了和暦">室町:197:明応:050101[閏]</date> <event><persname /></event> </chronitem> </chronlist> <chronlist> <chronitem>

	和暦は date の PCDATA に”時代:和暦区分:和暦名称+刊行・書写年”の形で記述する。 なお、和暦名称、刊写の別はコードで記述する。 開始・終了の閏月フラグがセットされている場合は、PCDATA 内(書誌開始刊行・書写年及び書誌終了刊行・書写年の後)に”[閏]”を記述する。	<pre> <date type="書誌開始和暦">室町:193:応仁:190203[閏]</date> <event>01<persname>尋尊</persname></event> </chronitem> <chronitem> <date type="書誌終了和暦">室町:197:明応:050401[閏]</date> <event><persname /></event> </chronitem> </chronlist> </bioghist> </pre>
内閣文庫細目	※内閣文庫簿冊と同じ	

2.9. 資料履歴 (Archival history)

custodhist 要素を使用する。文字データは p 要素内に記述する。旧蔵者のコードの例示としては、「01:紅葉山文庫」、「21:内務省」、「72:興福寺大乘院」などがある。

資料種別	対応項目	記述例
資料群	資料履歴	<custodhist> 江戸幕府の紅葉山文庫・昌平坂学問所・医学館等の書籍を、明治政府が継承。また政府が、資料収集の一環として明治初期に東大寺外寺社や朽木氏等の武家、押小路家等公家の文書等を購入。明治以降いわゆる内閣の「図書館」として業務参考書として各省の刊行物等を収集。 </custodhist>
公文書等簿冊	なし	
公文書等件名	なし	
内閣文庫簿冊	旧蔵者 p 要素の PCDATA にコードで記述する。	<custodhist> 72 </custodhist>
内閣文庫細目	なし	

2.10. 入手先 (Immediate source of acquisition)

acqinfo 要素を使用する。文字データは p 要素内に記述する。受入れ方法のコードの例示としては、「01:移管」、「02:寄贈」、「03:寄託」などがある。移管元機関等コードの例示としては、「B00:内閣総理府」、「Z00:最高裁判所」、「101:国立公文書館」などがある。衣冠年度の元号のコードの例示としては、「246:昭和」、「247:平成」、「248:令和」などがある。

公文書等簿冊の場合、受入情報と移管情報をそれぞれ p 要素で記述する。

資料種別	対応項目	記述例
資料群	移管元機関等	<pre><acqinfo> <p>運輸省鉄道局民営鉄道部管理課から昭和47, 49, 58年度に, 鉄道局 から平成9, 12年度に移管されている。</p> </acqinfo></pre>
公文書等簿冊	受入方法、受入年月日、移管元機関等、移管年度、移管時管理担当部局 受入方法は 1 番目の p 要素の PCDATA にコードで記述する。受入年月日は p/date 要素に記述する。 移管情報は 2 番目の p 要素に記述する。移管省庁は corpname 要素の PCDATA にコードで記述する。移管時管理担当部局は corpname 要素の PCDATA に記述する。移管年度は p/date 要素に記述する。移管年度の元号はコードで記述する。	<pre><acqinfo> <p>1<date type="受入年月日" normal="20030424">20030424</date></p> <p> <corpname role="移管元機関等コード">i00</corpname> <corpname role="移管時管理担当部局">厚生労働省</corpname> <date type="移管年度" normal="20030000">247:14</date> </p> </acqinfo></pre>
公文書等件名	なし	
内閣文庫簿冊	なし	
内閣文庫細目	なし	

2.11. 資料内容（Scope and content）

scopecontent 要素を使用する。資料群では文字データは p 要素内に記述する。

公文書、内閣文庫の場合、scopecontent の下に note 要素を記述し、label 属性により区別する。

資料種別	対応項目	記述例
資料群	資料内容	<scopecontent> <p>大正8年に制定された地方鉄道法に基づく民営地方鉄道・軌道及び事業所等の専用鉄道の敷設免許関係書類（一部軌道法に伴う軌道特許の書類も含まれる）。大阪市営や京都市営鉄道等の地方自治体の運営する鉄道も含まれる。大正12年の関東大震災で火災にあっているため、現存するものは大正期以降のものが多い。昭和初期の整理により紫色の表紙に「鉄道省文書」のタイトルが貼付され、個別鉄道ごとに免許申請・交付・変更・営業報告書・免許失効・営業廃止等の文書が編綴されている。個別鉄道の名称は、免許申請提出当時のものである。なお、昭和戦前期に国有化されたものは含まない。昭和24年の日本国有鉄道発足時に国鉄に移管されたものと思われる。</p> </scopecontent>
公文書等簿冊	資料内容 note 要素で記述し、label 属性により区別する。	<scopecontent> <note label="資料内容"><p>日本国憲法 朕は、日本国民の総意に基いて、新日本建設の礎が、定まるに至ったことを、深くよろこび、枢密顧問の諮詢及び帝国憲法第七十三条による帝国議会の議決を経た帝国憲法の改正を裁可し、ここにこれを公布せしめる。裕仁 昭和二十一年十一月三日 内閣総理大臣 兼外務大臣 吉田茂 国務大臣男爵 幣原喜重郎 司法大臣 木村篤太郎 内務大臣 大村清一 文部大臣 田中耕太郎 農林大臣 和田博雄 国務大臣 齋藤隆夫 逓信大臣 一松定吉 商工大臣 星島二郎 厚生大臣 河合良成 国務大臣 植原悦二郎 運輸大臣 平塚常次郎 大蔵大臣 石橋湛山 国務大臣 金森徳次郎 国務大臣 膳桂之助 日本国憲法 日本国民は、正常に選挙された国会における代表者を通じて行動し、</p></note> </scopecontent>
公文書等件名	資料内容、文書番号、法令番号 それぞれ note 要素で記述し、label 属性により区別する。	<scopecontent> <note label="文書番号"><p>文第1号</p></note>

		<note label="法令番号"> 法律第10号 </note> <note label="資料内容"> 理由 文化功労者年金の額を50万円から100万円に引き上げる必要がある。これが、この法律案を提出する理由である。 </note> </scopecontent>
内閣文庫簿冊	巻数 note 要素で記述し、label 属性により区別する。	<scopecontent> <note label="巻数"> 4 巻(欠有り) </note></scopecontent>
内閣文庫細目	なし	

2.12. 評価、廃棄処分、保存年限（ Appraisal,destruction and scheduling ）

appraisal 要素を使用する。文字データは p 要素内に記述する。

資料種別	対応項目	記述例
資料群	評価、廃棄処分、保存年限	<pre><appraisal> <p>〇〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇/p> </appraisal></pre>
公文書等簿冊	なし	
公文書等件名	なし	
内閣文庫簿冊	なし	
内閣文庫細目	なし	

※〇〇〇については、内容を記載する。

2.13. 追加受入（Accruals）

accruals 要素を使用する。文字データは p 要素内に記述する。

資料種別	対応項目	記述例
資料群	追加受入	<pre><accruals> <p>〇〇〇</p> </accruals></pre>
公文書等簿冊	なし	
公文書等件名	なし	
内閣文庫簿冊	なし	
内閣文庫細目	なし	

※〇〇〇については、内容を記載する。

2.14. 編成 (System of arrangement)

arrangement 要素を使用する。文字データは p 要素内に記述する。

資料種別	対応項目	記述例
資料群	編成	<arrangement> 平成12年度までに移管を受けた公文書(職務記述書, 営利企業就職承認関係)と平成13年度以降移管を受けた公文書とを別にして資料群を編成している。 </arrangement>
公文書等簿冊	なし	
公文書等件名	なし	
内閣文庫簿冊	なし	
内閣文庫細目	なし	

2.15. 公開条件 (Conditions governing access)

accessrestrict 要素を使用する。

資料群では文字データは p 要素内に記述する。

簿冊及び件名では利用制限の区分の値を格納する。利用制限の区分コードの例示としては、「01: 公開」、「02: 要審査」、「03: 部分公開」などがある。

資料種別	対応項目	記述例
資料群	公開条件	<pre><accessrestrict> <p>公開(一部非公開箇所を含む)</p> </accessrestrict></pre>
公文書等簿冊	利用制限の区分	<pre><accessrestrict type="利用制限区分"> <p>01</p> </accessrestrict></pre>
公文書等件名	利用制限の区分	<pre><accessrestrict type="利用制限区分"> <p>01</p> </accessrestrict></pre>
内閣文庫簿冊	利用制限の区分	<pre><accessrestrict type="利用制限区分"> <p>01</p> </accessrestrict></pre>
内閣文庫細目	利用制限の区分	<pre><accessrestrict type="利用制限区分"> <p>01</p> </accessrestrict></pre>

2.16. 利用条件（ Conditions governing reproduction ）

userrestrict 要素を使用する。文字データは p 要素内に記述する。

資料種別	対応項目	記述例
資料群	利用条件	<userrestrict> インターネットで画像が閲覧可能。保存上原本の利用が制限されているため、原本の閲覧には原本の特別利用の手続きが必要。 </userrestrict>
公文書等簿冊	なし	
公文書等件名	なし	
内閣文庫簿冊	なし	
内閣文庫細目	なし	

2.17. 使用言語 (Language / scripts of material)

did/langmaterial/language 要素を使用する。

システムでの言語コードをテキストノードの値とし、ISO-639-2b のコードに変換した値を language 要素の langcode 属性に記述する。言語コードの例示としては、「日本語(01):jpn」、「中国語(02):chi」、「英語(03):eng」などがある。

資料種別	対応項目	記述例
資料群	言語 language 要素の PCDATA にコードで記述する。	<pre><did> <langmaterial><language langcode="jpn">01:日本語</language></langmat erial> </did></pre>
公文書等簿冊	言語	<pre><did> <langmaterial><language langcode="jpn">01:日本語</language></langmat erial> </did></pre>
公文書等件名	なし	
内閣文庫簿冊	言語	<pre><did> <langmaterial><language langcode="jpn">01:日本語</language></langmat erial> </did></pre>
内閣文庫細目	言語	<pre><did> <langmaterial><language langcode="jpn">01:日本語</language></langmat erial> </did></pre>

2.18. 物的特徴、大きさ (Physical characteristics and technical requirements, Dimensions)

phystech 要素を使用する。

文字データは p 要素内に記述する。

資料種別	対応項目	記述例
資料群	物的特徴	<phystech> 図面が多く綴じこまれているので取扱いに注意が必要。 </phystech>
公文書等簿冊	なし	
公文書等件名	なし	
内閣文庫簿冊	なし	
内閣文庫細目	なし	

2.19. 場所（Storage location）

公文書等簿冊及び内閣文庫簿冊の保存場所に関する情報は、did/physloc 要素を使用する。場所のコードの例示としては、「01:本館」、「02:つくば分館」、「03:電子公文書等システム」などがある。

資料種別	対応項目	記述例
資料群	なし	
公文書等簿冊	保存場所(館)label 属性により区別する。保存場所(館)についてはコードで記述する。	<pre><did> <physloc label="保存場所(館)">02</physloc> </did></pre>
公文書等件名	なし	
内閣文庫簿冊	保存場所(館)	<pre><did> <physloc label="保存場所(館)">01</physloc> </did></pre>
内閣文庫細目	なし	

2.20. 検索手段（Finding aids）

otherfindaid 要素を使用する。文字データは p 要素内に記述する。

資料種別	対応項目	記述例
資料群	検索手段	<otherfindaid> 目録データベースでは、「移管省庁」欄に「運輸省」を入力し、鉄道名での検索が有効。但し申請時の名称である場合もあるので、名称変更のあるものは注意が必要。冊子目録は、「昭和47, 49, 58, 平成9.12年度移管 運輸省 公文書目録」 </otherfindaid>
公文書等簿冊	なし	
公文書等件名	なし	
内閣文庫簿冊	なし	
内閣文庫細目	なし	

2.21. オリジナル資料（Existence and location of originals）

originalsloc 要素を使用する。文字データは p 要素内に記述する。

資料種別	対応項目	記述例
資料群	オリジナル資料	<originalsloc> 第一類 公文録 </originalsloc>
公文書等簿冊	なし	
公文書等件名	なし	
内閣文庫簿冊	なし	
内閣文庫細目	なし	

2.22. 複製 (Existence and location of copies)

altformavail 要素を使用する。文字データは p 要素内に記述する。提供媒体のコードの例示としては、「1:カラーポジフィルム」、「2:光ディスク」、「3:紙ファイル」がある。

資料種別	対応項目	記述例
資料群	関連資料	<altformavail> 複製 </altformavail>
公文書等簿冊	提供媒体	<altformavail> 2:光ディスク </altformavail>
公文書等件名	なし	
内閣文庫簿冊	提供媒体	<altformavail> 2:光ディスク </altformavail>
内閣文庫細目	なし	

2.23. 関連資料 (Related units of description)

relatedmaterial 要素を使用する。文字データは p 要素内に記述する。

資料種別	対応項目	記述例
資料群	関連資料	<relatedmaterial> 路面電車等の「軌道法」に基づくものは、建設省道路局路政課よりの移管文書(「軌道関係」)にも施設申請会社ごとの編綴で整理されている。交通博物館に旧国鉄関係の文書あり。 </relatedmaterial>
公文書等簿冊	なし	
公文書等件名	なし	
内閣文庫簿冊	なし	
内閣文庫細目	なし	

2.24. 出版書誌情報（Publication note）

bibliography 要素を使用する。文字データは p 要素内に記述する。

資料種別	対応項目	記述例
資料群	参考文献	<bibliography> 河野敬一「大正・昭和戦前期における鉄道敷設申請却下について」『北の丸』28 br 河野敬一「昭和戦前期までの鉄道関係公文書について」『北の丸』30 </bibliography>
公文書等簿冊	なし	
公文書等件名	なし	
内閣文庫簿冊	なし	
内閣文庫細目	なし	

2.25 関連事項（Note）

note 要素を使用する。文字データは p 要素内に記述する。

資料種別	対応項目	記述例
資料群	注記	<note> 法制局文書 </note>
公文書等簿冊	関連事項	<note> 訳文 大本営令・資料番号 Doc.No.00185*・法務省整理番号 B0073・ 分類 極東裁判検察側 </note>
公文書等件名	関連事項	<note> 「* H20. 10. 14 暁背英支出総点検会議 第1WG(第3回)追加資 料」 </note>
内閣文庫簿冊	関連事項	<note> 第1－9巻(各第1－4号)第10巻(第2・3号)民国 15 年から 25 年にか けての刊行 </note>
内閣文庫細目	関連事項	<note> 三品 * 岩崎常正 庭に植えたところ赤小豆のような実からは名の知れざ るものが生え、あとの二つは蕎麦と樫の実生と判明。鉢に樫の図。 </note>